

歯科点数表の歯学生向けテキストを刊行

歯科医療管理学は歯科医師になってから役立つ

東京歯科大学歯科医療管理学教授

鳥山佳則氏に聞く



プロフィール

鳥山佳則(とりやま・よしのり)／1987年3月、大阪大学歯学部を卒業し、同年5月厚生省入省。その後、本省から静岡県庁、東京医科歯科大学、茨城県庁にも勤務。2010年7月に厚生労働省保険局歯科医療管理官に就任。12年9月に社会保険診療報酬支払基金本部の歯科専門員に就任し、16年3月に同省を退職。同年6月に東京歯科大学歯科医療管理学教授に就任、現在に至る。

◆鳥山佳則東京歯科大学教授
実家は、私の家系や親類縁者には、歯科医師は一人もいません。内科医をしている従弟が一人います。歯科医師を志したのは小学生の時、小林顕広報・ホームページ部員 歯科医師を志した動機について。

厚生技官の道を 選んだきっかけと目標

七十五歳以上人口の急増により、日本は本格的な超高齢社会に足を踏み入れた。それとともに歯科の患者も高齢化が進んでいる。8020運動の成果もあり高齢者の残存歯は増えている。しかし、外来通院が可能な高齢者、九十歳を超えて百歳の歯科患者の治療には、従来からの理論や技術がそのまま通用するとは考えられず、全身管理上のリスクも伴う。診療報酬はそのようなリスクをどう補っているのか…。

こうした視点から高齢者への歯科医療を見守り続けているのが今回紹介する東京歯科大学歯科医療管理学教授の鳥山佳則氏だ。鳥山氏は旧厚生省時代から厚生労働省時代まで、延べ二十九年間にわたり歯科医師として厚労省の技官を務め、診療報酬と医療保険制度畑を歩んできた。来たる二月には、日本初の歯科大学生向けの診療報酬関連テキストとして『歯科診療報酬入門(仮題)』を刊行する。これまで把握してきた歯科診療報酬、保険点数の仕組みを初心者向けに紹介する内容だ。今回は鳥山氏に、歯科医療管理学とは何か、これからの診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 大学四年の頃、口腔外科教授の宮崎正先生の授業で「厚生技官」の存在を知りました。そこへ、六年の時に受けた西村周三先生の「医療経済学」の講義内容が重なり、意識の中で厚生技官志望の意思にス

大阪大学歯学部入学後に、当時の厚生省技官採用試験を受験しようと考えたきっかけを。

点数表全体に当てはまる 基本的ルールは3本

◆鳥山氏 私が生省に入省したのは一九八七年頃から「これからは高齢化対策の時代だ」といわれていました。世界に類をみない高齢化が進む日本がどのような政策をとるのか、日本の方向を世界中が注目しており、高齢者への歯科医療政策でお手本を示すことではできないかと思いました。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 歯科医療管理学とは、診療報酬を専門としたいと考える医師は、基礎系、臨床系の科目は、歯科医師になるための教育内容です。しかし、私の担当分野は歯科医師になってから役立つ教育内容となります。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

歯科医師は地域包括ケアのキーパーソンに

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。

◆鳥山氏 二十九年にわたる厚生労働省で技官を務めた経験から、診療報酬改定や今後の日本の歯科医療に関する方向はどのようなものか、などについてうかがってみた。



インタビューは東京歯科大学の鳥山氏の教授室で行った。右は、聞き手の小林広報部員。東歯大は小林部員の母校